

第1回 木曾岬町活性化委員会 議事録

日時/場所	2015年6月26日(金) 19:00~21:15 木曾岬町役場福祉教育センター2階第3会議室	
参加者	木曾岬町 事務局 : 山北教育委員長、白木課長、宮前係長兼指導主事 活性化委員 : 安田委員長、伊藤副委員長、星野委員、柴田委員、諸戸委員、大橋委員、中川委員、武石委員、松下委員、加藤委員 アドバイザー : 株式会社リブネット 代表取締役社長谷口、永野、高橋	
議事・議題	回答	
1. 規約について		
・ 委員の任期は開館までとあるが、開館後は読書サポーターが委員のような役割を行うのか？	運営委員会は開館後、運営委員会に名前を変えて活動を行っていく。(事務局)	
2. 委員長選出		
・ 安田先生を委員長、伊藤校長を副委員長でよいか？	満場一致(委員)	
4. 委員会のスケジュールについて		
・ 6回の開催予定である。		
・ 他の図書館に視察に行くというのはどうか？(委員)	委員会の予定に入れることを検討している(事務局)	
5. 各委員から		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 休館日は毎週月曜日、年末年始、2月に特別館内整理期間を考えている。開館は平日が10:00~18:00、休日が9:00~17:00(事務局)</li> <li>・ 月曜祝日はどうなるのか(委員)</li> <li>・ 近隣自治体住民も利用でき、貸出冊数は現状通り3冊</li> <li>・ 蔵書は現状通り視聴覚資料や大活字本などはいれず、協力館との相互貸借で対応する。(事務局)</li> <li>・ 連携は近隣施設とはできないのか</li> <li>・ 人材は大事なので、館長を選任で置いてほしい。(委員)</li> <li>・ 小学生の利用を促すのもよいが、若い女性の人口が減っているのを、そのことも踏まえて図書館づくりをしていきたい(委員長)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>検討事項とする(事務局)</li> <li>貸出冊数が3冊というのは少なすぎるように思う(委員)</li> <li>連携の仕方色々だが、相手のあることだということを忘れてはいけない。(委員長)</li> <li>専任で置くことが望ましいが、予算上、難しい。将来的に町民より要望があれば検討する(事務局)</li> <li>子育て支援や図書館環境がよいところは人口増になっている(アドバイザー)</li> </ul>	
6. 館内について		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出入口以外の非常口はあるのか？</li> <li>・ 図書館が1階で非常時は大丈夫なのか(委員)</li> <li>・ 談話室は、ただのおしゃべりの場にならないか(委員)</li> <li>・ 試験期間は学習室が利用できるようにしたい(委員)</li> <li>・ 飲食スペースは図書館外なのか、近くにあるのか(委員)</li> <li>・ おはなしコーナーの大きさは、どれくらいか？また、段差はあるのか(委員)</li> <li>・ おはなし会の時に子どもが集中できるよう本を隠すカーテンのようなものがほしい(委員)</li> <li>・ 子どもたちだけで利用することも考え、中が見えるようにしてほしい</li> <li>・ 本棚の高さは？(委員長)</li> <li>・ 床材は？(委員)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>設計上、考慮されているはずだが、確認する(事務局)</li> <li>人命優先。2階に建設予定のホールが避難所になる(事務局)</li> <li>談話室は構想の中で学習室とした。時間帯を決めてサークル活動にも使えるように考えている(事務局)</li> <li>図書館から10m程のところに役場の待合スペースがあり、そこで飲食ができる。(事務局)</li> <li>6.9m×6.75m。会談に座って本が読めるようになっている(事務局)</li> <li>検討する(事務局)</li> <li>見えるようになっている(事務局)</li> <li>絵本は2~3段、壁沿いは3段、小中学校向けの本の棚は4段、YAや暮らしのコーナー、一般書の棚は5段。美術本など大きい本は3段です。閉架書庫は7段。背の高い方なら、奥が見える。(事務局)</li> <li>硬質タイルだったと思うが、確認する(事務局)</li> </ul>	